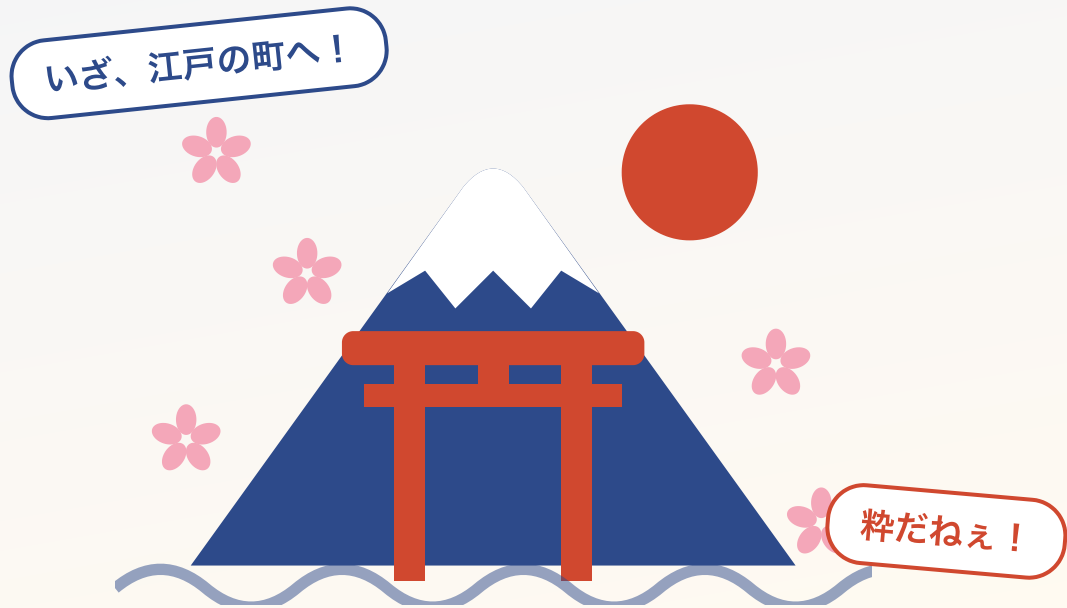




江戸の暮らし

江戸の町へタイムスリップしてみよう



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

江戸の時代と町	3～4
くらしと知恵	5～8
芸術と芸能	9～10
旅と信仰	11～12
江戸の文化	13～17
体験しよう	18
見る・体験する	19
おさらい	20～24
復習	25～26
伝えよう	27～28
まとめ	29～30

江戸時代とは

江戸時代がいつからいつまで続いたのか知ろう。

江戸時代は、1603年に**徳川家康**が江戸（今の東京）に幕府を開いてから、1867年に十五代将軍**徳川慶喜**が政治を朝廷に返す（大政奉還）まで、約260年間続いた時代です。

この間、大きな戦争が少なく、町人の文化や暮らしが大きく発展しました。



1603年

けいちょう8年

徳川家康が江戸に幕府を開く

はじまり



1867年

けいおう3年

徳川慶喜が政権を朝廷に返す
（大政奉還）

おわり



約260年

やくにひゃくろくじゅうねん

戦の少ない、平和な時代が続いた

とくちょう

ポイント

- 江戸時代は「幕府」という武士の政治のしくみによって治められていました。
- 参勤交代**という制度で、大名は江戸と自分の領地を行き来していました。
- 身分によって住む場所や仕事に分かれていましたが、町人の文化も大きく花開きました。

やってみよう

- 江戸時代は西暦何年から何年まで続いたか、書いてみよう。 _____
- 「大政奉還」という言葉の意味を、自分の言葉で説明してみよう。
.....

書いて覚えよう

江戸の町と長屋の暮らし

江戸の町がどんな作りだったか、庶民の住まいを知ろう。

武家地

大名や旗本など武士が住む屋敷町

町人地

商人や職人が住む町。江戸の中心的な活気があった

寺社地

寺や神社とその周辺の土地

長屋

町人が多く住んだ、細長い集合住宅

大家さん

長屋を管理し、住人の相談にものった人

井戸端

共同の井戸のまわり。近所づきあいの場

Emma

江戸の町には、どれくらいの人住んでいたの？



Ken

当時の江戸は、世界でも指おりの大都市だったといわれているよ。

ポイント

- 江戸の町は、武士が住む「武家地」、町人が住む「町人地」、寺社の「寺社地」に分かれていました。
- 長屋は、細長い建物をいくつかの部屋に区切った住まいで、多くの町人が暮らしていました。
- 長屋では、井戸やトイレ、物干し場を近所どうして共同で使うことが多くありました。

やってみよう

1. 長屋の暮らしで、今のアパートと似ているところ・ちがうところを1つずつ書こう。

書いて覚えよう

江戸のリサイクル

物を大切に使い切る、江戸の知恵を知ろう。

江戸のリサイクル業

古着屋

紙くず買い

灰買い

傘の張り替え屋

下駄の歯入れ屋

肥料にする

こわれた物や使い終わった物も、直したり形を変えたりして、最後まで大切に使われていました。

ポイント

- 江戸時代には、物を修理したり、別の形に作りかえたりする職業がたくさんありました。
- 燃えたあとの灰や、動物のふんまで、肥料として売り買いされていました。
- 物を最後まで使い切る工夫は、今の「リサイクル」の考え方にも通じます。

やってみよう

1. 今のあなたの身のまわりで、修理して使えそうな物を1つ探してみよう。

2. 江戸のリサイクル業を1つえらび、どんな仕事だったか説明してみよう。

ワンポイント 使い捨てが少なかった江戸の暮らしは、今の「サステナブル」という考え方に近いところがあります。

書いて覚えよう

江戸の食べ物（そば・すし・天ぷら）

江戸の町で生まれ育った食文化を知ろう。

そば

soba

そば粉で作るめん。江戸っ子に人気の食べ物だった

屋台でさっと食べられた

握りずし

nigiri sushi

酢飯に魚などをのせた、江戸生まれのすし

今の主流のすしの形

天ぷら

tempura

魚や野菜に衣をつけて油で揚げた料理

屋台の人気メニューだった



Ken

そば・すし・天ぷらって、みんな江戸時代に今の形ができたんだよ。

Emma

屋台でぱっと食べられるところが、江戸っ子らしいね！



ポイント

- 江戸には働く男性が多く、手早く食べられる屋台料理が人気でした。
- 握りずしは、それまでの発酵させるすしとちがい、すぐに食べられる新しいスタイルでした。

やってみよう

- そば・すし・天ぷらの中で、家で食べたことがあるものに○をつけよう。
- 屋台のような「立ち食い」のよさは何だと思いますか。

書いて覚えよう

寺子屋

江戸の子どもたちがどこで何を学んでいたか知ろう。

寺子屋は、町や村にあった、庶民の子どものための学びの場です。

僧侶や武士、町人などが先生となり、「読み・書き・そろばん」を中心に教えていました。



ポイント

- 寺子屋では、実生活に役立つ読み書きや計算を学びました。
- 決まった年齢やカリキュラムはなく、それぞれのペースで学ぶことができました。
- 江戸時代の日本は、当時の世界の中でも読み書きができる人の割合が高かったといわれています。

やってみよう

1. 「読み・書き・そろばん」のうち、今のあなたが得意なのはどれですか。

2. 寺子屋と今の学校で、似ているところを1つ書こう。

ワンポイント そろばんは、今も一部の学校やお店で使われています。見たことがあるか、思い出してみましょう。

書いて覚えよう

江戸の遊び

江戸の子どもや大人が楽しんだ遊びを知ろう。

こま回し

ひもを使ってこまを回す遊び

羽根つき

羽子板で羽根を打ち合う遊び

凧あげ

風にのせて凧を高く飛ばす遊び

双六（すごろく）

さいころを振って盤の上を進む遊び

けん玉

似た遊び道具が江戸時代にもあったといわれる

花火

打ち上げ花火が庶民の楽しみになった

ポイント

- こまや凧あげなど、今も伝わる遊びの多くが江戸時代から楽しまれていました。
- 季節の行事と結びついた遊びも多く、正月には羽根つきや凧あげが定番でした。

やってみよう

- 上の遊びの中で、あなたがやったことのあるものに○をつけよう。
- 今と江戸時代、遊び方はどう変わったと思いますか。

書いて覚えよう

浮世絵

江戸の暮らしや風景を描いた浮世絵を知ろう。

浮世絵は、江戸時代に発展した木版画（もくはなが）の絵です。役者や美人、風景、相撲など、当時の人気や流行が描かれています。

歌川広重の「東海道五十三次」や、葛飾北斎の「富嶽三十六景」などが、今もよく知られています。



ポイント

- 浮世絵は版木を使って刷られたため、同じ絵を多くの人が安く手に入れることができました。
- 浮世絵は海をこえて、ヨーロッパの画家たちにも影響をあたえたといわれています。

やってみよう

1. 富士山を描いた浮世絵を見たことがありますか。見たことがあれば、どんな絵か書こう。

2. 浮世絵に描かれそうな、今の町の風景を1つ考えてみよう。 _____

ワンポイント 浮世絵の「浮世」には、「今を楽しく生きる世の中」という意味がこめられているといわれています。

書いて覚えよう

歌舞伎と文楽

江戸時代に人気を集めた芸能を知ろう。

歌舞伎

役者が演じる舞台

派手な衣装と化粧（隈取）

見た目の迫力

見得を切る

決めのポーズで魅せる

文楽

人形をあやつる舞台

三人で1体の人形を動かす

細やかな動き

太夫が語り、三味線がひびく

物語を音で伝える

Emma

歌舞伎も文楽も、どちらも江戸時代に人気があったの？



Ken

うん。町人たちが楽しみにしていた、大切な娯楽だったんだよ。

ポイント

- 歌舞伎と文楽は、どちらも江戸時代に大きく発展し、今も伝統芸能として続いています。
- どちらもユネスコの無形文化遺産に登録されています。

やってみよう

- 歌舞伎と文楽、見てみたいのはどちらですか。理由も書こう。

書いて覚えよう

旅と街道

江戸時代の人々がどう旅をしていたか知ろう。

五街道

東海道

中山道

甲州街道

日光街道

奥州街道

江戸の日本橋を起点に、全国へつながる5つの主要な街道が整備されました。

ポイント

- 街道には**宿場町**が置かれ、旅人は宿やごはん、馬の乗りかえなどを利用できました。
- 多くの人は歩いて旅をし、1日に約30～40キロメートルを歩いたともいわれています。
- 関所では、通る人や荷物のチェックが行われていました。

やってみよう

1. 五街道の中で、名前を聞いたことがあるものに○をつけよう。
2. あなたの町の近くに、昔の街道や宿場町の名残はありますか。調べてみよう。

書いて覚えよう

お伊勢参り

多くの人があこがれた、伊勢神宮への旅を知ろう。

お伊勢参りは、三重県にある伊勢神宮にお参りする旅で、江戸時代に庶民の間で大流行しました。

一生に一度は行きたいとあこがれられ、旅のお金を積み立てる「伊勢講」というしくみもありました。



ポイント

- 江戸から伊勢までは片道数百キロあり、旅には10日以上かかることもありました。
- 道中で名物を食べたり、名所を見物したりすることも旅の楽しみでした。
- 「おかげ参り」とよばれる、多くの人が一斉に伊勢を目指す現象も起きました。

やってみよう

- お伊勢参りのように、多くの人があこがれる今の旅先を1つ書こう。

- 旅のお金をためる「伊勢講」のような仕組みを、他に知っていますか。

書いて覚えよう

14

手紙や荷物を走って届ける仕事

家や橋を建てる職人

天びん棒で商品をつぎ、売り歩く商人

町を火事から守る仕事

浮世絵や本を出版する仕事

髪を結う仕事

- 江戸の町には、今では見かけなくなった、さまざまな専門の仕事がありました。
- 多くの職業が助け合うことで、大都市・江戸の暮らしが成り立っていました。

1. 上の職業の中で、今も形を変えて残っていると思うものはどれですか。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins or other markings on the paper.

深川祭

この3つは「江戸三大祭り」とよばれ、今も東京の夏の風物詩として続いています。

- 祭りは、神様への感謝や願いをこめる行事であると同時に、町人にとって大切な楽しみでもありました。
- 山車（だし）や神輿（みこし）が町を練り歩く様子は、当時の錦絵にもよく描かれています。

1. あなたの地域のお祭りには、どんな出し物や神輿がありますか。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 江戸の暮らし 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

江戸のことば

今も残る、江戸生まれのことばを知ろう。

江戸っ子

えどっこ / edokko

江戸で生まれ育った人。気っぷがよいとされた

三代続いて江戸に住む人、ともいわれる

宵越しの銭は持たない

よいごしのぜにはもたない

その日にかせいだお金はその日に使い切る、という江戸っ子の気風を表すことば

ポイント

- 江戸ことばの中には、今の東京の方言や、共通語として使われる言葉のもとになったものもあります。
- 「べらぼうめ」「いなせ」など、勢いのいい言い回しも江戸ことばの特ちょうです。

やってみよう

- 「江戸っ子」ということばから、あなたはどんなイメージを持ちますか。

書いて覚えよう

地域の歴史資料館や博物館でも、江戸時代のくらしを紹介する展示が見られることがあります。

- 実際に見たり、体を動かしたりすると、教科書の言葉以上に江戸の暮らしが身近に感じられます。
- 地域によって、残っている江戸時代の史跡や行事はさまざまです。

1. 上の体験の中で、やってみたいものを1つえらぼう。
2. あなたの町で見られる、江戸時代からの建物や史跡を調べてみよう。

実物や体験を通して、江戸の暮らしをもっと身近に感じよう。

江戸東京博物館など、当時のくらしを再現した展示

テレビや映画で江戸時代の雰囲気を見る

宿場町や城下町など、今も残る町なみを歩く

そばやおにぎりなど、江戸生まれの料理を作ってみる

藍染めや折り紙など、伝統的な手仕事を体験する

地域の祭りで神輿や山車にふれる

ポイント

- 写真や映像だけでなく、実物や体験を通すと、記憶に残りやすくなります。
- 料理や工作を体験するときは、刃物や熱いものをあつかう場面では、大人といっしょに行いましょう。

やってみよう

1. 博物館や史跡など、実際に行ってみたい場所を1つ書こう。 _____
2. そばやおにぎりなど、江戸生まれの料理を1つ作ってみよう（包丁や熱湯は大人といっしょに）。 _____

書いて覚えよう

由来と意味をおさらい

これまで学んだ言葉の由来や意味を確かめよう。

ことば	由来・意味
寺子屋	町や村の子どもに読み書きを教えた、庶民の学び場
浮世絵	「浮世（今を楽しく生きる世の中）」を描いた木版画
お伊勢参り	伊勢神宮へお参りする旅。一生に一度のあこがれとされた
粋（いき）	気取らず、さっぱりとしてカッコいいという江戸の美意識

ポイント

- 行事や言葉には、それぞれ生まれた理由や、こめられた思いがあります。
- 由来を知ると、ただの知識ではなく、体験として文化を味わえるようになります。

やってみよう

1. 上の中で、由来がいちばん印象に残ったものはどれですか。理由も書こう。

書いて覚えよう

地域によるちがい・昔と今をくらべよう

地域ごとの文化のちがいと、時代による変化を見つけよう。

地域差

江戸と地方のちがい

江戸

町人文化・多くの人口

地方（藩）

独自の産業や祭り、方言

昔と今

江戸と今の東京

江戸時代

町人地・武家地に分かれた町

今の東京

職業や住む場所を自由に選べる

ポイント

- 江戸の文化は全国共通ではなく、地域によって独自の産業や祭り、ことばが育まれていました。
- 今の東京と江戸時代の町を見くらべると、変わったところと変わらないところの両方が見えてきます。

やってみよう

- あなたの地域に、江戸時代から続く産業や祭りはありますか。調べてみよう。

書いて覚えよう

よくある疑問

江戸の暮らしについて、素朴な疑問に答えよう。

Emma

江戸時代の人たちは、お風呂に入っていたの？



Ken

うん。町には「銭湯」があって、多くの人が通っていたんだよ。

Emma

じゃあ、時計はあったの？



Ken

日時計や、時を知らせる「時の鐘」があって、今とはちがう方法で時間を知っていたんだ。

ポイント

- 江戸時代にも、銭湯や時を知らせるしくみなど、暮らしを支える工夫がたくさんありました。
- 「昔だから不便だった」と決めつけず、その時代なりの知恵を探してみましょう。

やってみよう

- あなたが江戸時代の人に聞いてみたいことを1つ考えてみよう。

書いて覚えよう

- 史跡や資料館では、展示物にさわらない、静かに見学するなどのマナーを守りましょう。
- 祭りに参加するときは、神輿や山車の近くでは係の人の指示に従いましょう。
- そば打ちなどの調理体験では、包丁や熱湯を使う場面は必ず大人といっしょに行いましょう。

1. 博物館や史跡を見学するときに気をつけたいことを、1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

町と暮らし

☐ 長屋

町人が多く住んだ集合住宅

☐ 町人地

商人や職人が住む町

☐ 宿場町

街道沿いの旅人向けの町

文化と芸能

☐ 浮世絵

木版画で描かれた絵

☐ 歌舞伎

役者が演じる伝統芸能

☐ 文楽

人形を使う伝統芸能

学びと仕事

☐ 寺子屋

庶民の子どもの学び場

☐ 飛脚

手紙や荷物を届ける仕事

☐ 大工

家や橋を建てる職人

旅と信仰

☐ 五街道

江戸から全国へのびる5つの街道

☐ お伊勢参り

伊勢神宮へのお参りの旅

☐ 関所

通る人や荷物を調べた場所

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、資料館の展示もぐっと読み解きやすくなります。

書いて覚えよう

● オ、木版画で描かれた絵

2. 歌舞伎と文楽は、どちらもユネスコの に登録されている。

25

家族や友だちに話してみよう・英語で紹介してみよう

江戸の暮らしを、人に伝えてみよう。

伝えたいこと

理由

聞いてほしい人

Ken の例

伝えたいこと 握りずしは江戸時代に生まれた／理由 今の食文化のルーツを知ってほしいから／聞いてほしい人 すし好きの友だち

Edo period

エドピリオド

江戸時代

Ukiyo-e

ウキヨエ

浮世絵

Kabuki

カブキ

歌舞伎

やってみよう

1. 「Edo period」を使って、江戸時代を一文で英語っぽく紹介してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

江戸の暮らしの世界を、もっと広げてみよう。

もっと知りたい人へ

博物館へ

江戸東京博物館などの展示を見に行く

図書館で

江戸時代の暮らしや浮世絵の本を借りる

時代劇を

映像で江戸の雰囲気を味わう

次のステップ

明治時代

江戸から新しい時代への変化

祭り

地域の祭りの由来を調べる

伝統工芸

職人の技をさらにくわしく

ポイント

- この教材の次は「明治以降の文化」。江戸の暮らしが、どう変わっていったのかを見ていきます。

書いて覚えよう

江戸の暮らしチャレンジ

教室の外でも、江戸の暮らしをすぐに感じられます。

調べよう

地域に残る **江戸時代の史跡** を探す

見てみよう

浮世絵 を1枚、図書館やネットでさがす

伝えよう

江戸時代のことを1つ、家族に紹介する

こたえ

L28 寺子屋→ウ 浮世絵→オ 長屋→ア お伊勢参り→イ 五街道→エ
2. 家康 / 無形文化遺産

L33 (例) 江戸時代は、260年ほど続いた、町人の文化が花開いた時代。

書いて覚えよう

江戸の暮らし (Season 8 | No.76)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。